

学校教育目標	「あったかハートで Hey! 安心!!」～ まちとともに心豊かに生きる力を育みます～ (知)基礎基本を大切に、協働して学ぶ楽しさを味わい、自ら高める子を育てます (徳)互いのよさを認め合い、思いやりのある優しい子を育てます (体)心身を鍛え、健康で元気な子を育てます (公)まちやひととのつながりを実感して、進んで行動することのできる子を育てます (開)多様な伝統や文化を受け入れて、これからの社会に対応できる子を育てます				
	学校概要	創立 67 周年	学校長 久城 博之	副校長 重泉 正昭	2 学期制
児童生徒数: 692 人		主な関係校: 市場中 市場小			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
子どもたちが新しい時代を切り開いていくために必要な資質能力を育むためには多様な人々とのつながりを持つことが不可欠である。本校の教育課程において、まちとともに心豊かに生きる力を育成することをねらいとしていきたい。	市場中学校 市場小学校 平安小学校	・地域の一員としての自覚をもち、社会で生き抜く力をみにつけている人 ・いのちを大切に、温かく思いやりあふれる豊かな心と健やかな体で、自ら学び続ける人 ・中学校教諭の小学校授業参観(年2回)中学校への小学校教諭の授業参観(年1回) ・中学校における小中合同授業研(事前の指導案検討と当日の授業参観と協議会) ・6年生の中学校見学、部活動見学(年1回)、中学生とふれあい委員会合同あいさつ運動(年1回) ・3校合同の教務主任連絡会や専任会で学校運営、児童生徒指導の協力体制を密にし自校の改善にも生かす。

中期取組目標	○子どもひとり一人の豊かな成長をめざし、まちと共に歩む魅力ある学校づくりを推進します。 ・基礎基本をしっかり身に付け、協働して学ぶことが楽しく感じられる充実した授業実践をします。 ・互いのよさを認め合い、あたたかな人間関係を基盤とした自己有用感を育み楽しい学校生活を送れるようにします。 ・まちの人との豊かな交流を意識した教育活動を推進し、地域の一員として「わがまち」を愛する心を育むとともに、これからの社会に対応することのできる子どもを育てます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①子どもの実態を丁寧に見取り、各教科において、育成すべき資質・能力を明確にした授業づくりをする。②自分の思いや考えを伝え合い、主体的に取り組むことができる課題設定、授業展開を工夫する。③朝の帯時間の15分間の充実・児童の実態を踏まえてより柔軟に取り組むことで、問題解決に必要な基礎学力の定着をめざす。
豊かな心	①道徳教育と道徳の時間との関連を図り、年1回の授業公開を行い、家庭との共通理解を図る。②地域や保護者の協力をいただき、体験的な学習の充実を図るとともに、地域の一員であることに気付かせていく。③仲良し学年との交流を充実させ、異学年同士のつながりを築くようにする。
健やかな体	①体育や保健の見方・考え方を働かせ自身の課題を見付け、生涯にわたって心身の健康の保持増進し豊かなスポーツライフを実現するため資質・能力を育てる。②新体力テストの結果をもとに、児童主体の集会活動や体育的行事を計画し、年間を通じて継続して体力の向上に努める。③学校給食を通して、心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身につけられるようにする。④学校保健委員会では正しい姿勢と健康について取り上げ、自分の生活課題に気づき、正しい姿勢で健康に過ごせるように考える。
人権教育	①自己肯定感を高めるための「楽しい授業」「わかる授業」づくりをする。②ふれあい活動の充実させ、自他の違いの認識および連帯と協調の態度を育てる。③横浜プログラム・YPを扱い、学級経営を高めていく。④各学年に応じた福祉授業を行い、6年間の系統性を図っていく。
地域連携	①子ども達が地域と連携・協力して、意欲的、主体的に活動に参加していけるように実行委員会を設置し、互いの人間関係の深まりや協働する喜びを感じられるようにする。②「まちとともに歩む学校づくり懇話会」や行事ごとのアンケートなどを通して地域の意見を聞く機会を多く設け、連携を図る。
特別支援教育	学習活動や集団生活の中での困難さを抱える児童に対して、職員全体でアセスメントをすすめ、保護者とともに支援の方向性を考えていく。個別の支援計画を活用しながら支援方法について考え、必要とされる個別の対応を行い、安心して学べる学習環境を学校全体でつくっていけるようにする。
a14	a22
a15	a23
いじめへの対応	いじめ問題への対策を児童、教職員、保護者、地域、関係機関が主体的かつ相互的に協力しながら広く学校・地域全体で進め、いじめの防止及び解決を図る。「横浜子ども会議」等全校でいじめの未然防止を意識して活動することを通して、子どもの健全育成を図り、いじめのない学校の実現を目指す。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①5年次以下で構成されるメンターチームに主幹教諭やミドルリーダーが関わり、月1回の研修を通してスキルアップを図る。②学年主任会、いじめ防止対策委員会、運営委員会を同日に設定して情報共有をすることで、多くの職員で学校運営にかかわる意識を高める。③グループウェア活用による打合せ時間の削減や、過去データの整理、業務アシスタントの有効的な活用などにより働き方改革につなげる。